

製品名: TRAP240 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19226

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	MED13 MED13; ARC250; KIAA0593; THRAP1; TRAP240; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit 13; Activator-recruited cofactor 250 kDa component; ARC250; Mediator complex subunit 13; Thyroid hormone receptor-associated protein 1; Thyroid ho
別名	
遺伝子 ID	9969.0
SwissProt ID	Q9UHV7
免疫原	抗血清はヒト MED13 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 681-730

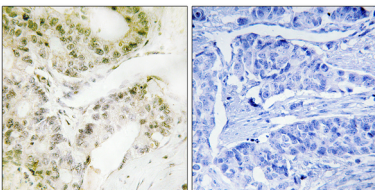
背景

この遺伝子は、ほぼすべての遺伝子の発現に必要であると考えられている転写コアクチベーター複合体であるメディエーター複合体 (TRAP、SMCC、DRIP、または ARC としても知られる) の構成要素をコードしています。メディエーター複合体は、転写活性化因子または核内受容体によってリクルートされ、おそらく RNA ポリメラーゼ II と相互作用して転写開始前複合体の形成を促進することで、遺伝子発現を誘導します。この遺伝子産物は、メディエーターによる転写活性化を負に制御できる MED12、サイクリン C、および CDK8 とともにサブ複合体を形成することが提案されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の制御転写に関するコアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素。メディエーターは、遺伝子特異的制御タンパク質から基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構に情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。類似性:メディエーター複合体サブユニット 13 ファミリーに属します。サブユニット: メディエーター複合体の構成要素で、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 で構成されています。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。1 つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれています。組織特異性: 普遍的。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; メディエーター複合体

画像データ



MED13 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。